

歴史的風致形成建造物概要

指定番号	5
指定年月日	令和7年1月14日
重点区域	総社及び総社山王地区
名称	阿久津静治家（主屋）
所在地	総社町総社2793番地
内容	大正7年に建造された養蚕農家で、昭和60年代まで養蚕業を営んでいた。「テンソウ」（天窗）が設けられ、2階軒は船柵造り、2階床は出梁造り、養蚕時の鉄製の2階荷揚げ、桑上げ用滑車が残され、敷地北側と西側には檜ぐねが配置されることで、養蚕農家の特徴が随所に見られる。外壁仕上げの一部が漆喰、2階の建具に杉板が使用されていることで、落ち着いたある養蚕農家の風情が感じられる。北側下屋は一部改修しているが、内部には土間が残され、養蚕農家が持つ歴史的風致が保たれている。

建造物について

建造年	大正7年（1918年）	
構造	木造2階建	
用途	養蚕農家	
外装仕上げ	屋根	日本瓦
	外壁	漆喰（真壁）、トタン波板
特筆すべき附属建物等	倉庫（土蔵）、檜ぐね	

案内図

